

熊野森 トラスト通信



感性の時代と自然との触れあい

いろはもみじ

成熟社会になった日本は、何を軸に進んで行くのだろうか？いや進めて行くことを生活者は望んでいるのだろうか？

私たちが、自然に触れるとき、何を感じるだろうか？

太陽に触れる、風に触れる、植物に触れる、樹に触れる、土に触れる、水に触れる……それぞれの人で触れる感じは異なるだろう。

感性を磨いてくると表現が変わってくる。綺麗さが違ってくる。「すごく綺麗、風がさわやかに肌に感じる、きらりと光る水玉、緑の愛おしい美しさ、花色の輝き……」会社の行き帰りの中で今まで感じるができなかったものを感じることができる。その喜びは、日々の自然との触れあいの中で育てられていく。

日本的感性は、日本の風土をベースに培われてきた。八百万の神、四季折々の自然の表情との触れあいをベースに培われたものだろう。

成熟社会・ストレス社会の中で、生きている人々、自分の開花を求める人は、自然との触れあいを楽しむことで、感性・内面から感動を味わう喜びにかわるだろう。



失われゆく斜面緑地の保全に、力を！！

目次

感性の時代と 自然との触れ合い	1
第11回総会報告 熊野森緑地の恵み	2
ちょっとおしゃべり ターザンの木に想うこと	3
畑づくりの体験学習	4

川崎・多摩丘陵の里山を守る会 第11回総会

12年前、
ターザンの木
江戸見桜を
取り囲んでいたのは
うっそうたる竹林だった。
里山活動を続けて
いま、
熊野森に雑木林が
再生している



春！あんずの花咲く

川崎・多摩丘陵の里山を守る会第11回総会報告 (5月30日開催)

2010年度活動方針を決め、里山の会の決算予算を審議しました。

- ・川崎市内多摩丘陵の緑地保全のための活動をしていきます。
- ・花と緑のまちづくりのために緑を育て、木や花を植えます。
樹木の名称板を付け、古くなったものは替え、緑地にクヌギを植えるためどんぐりを育てます。ターザンの木の子孫や、山野草を熊野森緑地に移植します。
- ・近くの畑を借り、近隣に呼び掛けて体験農業を今年秋から始めます。
- ・毎月第3日曜日の定例作業と月1回の草刈と定植、清掃作業などの活動をします。
- ・行政と協働、他の緑の活動団体、地域の人々との交流をはかります。
- ・会費は昨年に続き1000円、会員加入を勧めます。などを決めました

★熊野森緑地のめぐみ

身近な里山からのめぐみを頂くというのを実感したくて、私たちは1本の木を植えました。その後他所から何か持ってきて、植えたり、蒔いたりするのではなく、元々その地にあったもの、地中に眠っている種を大切に、という事を学びました。

が、2003年に植えた杏はここが気に入ってくれたようで、毎年右肩上がりの収穫高で今年は30キロにもなりました。杏酒、杏シロップ、杏ジャムと手分けして腕を振りました。杏の実はそのままで食べられますが、火とお砂糖を加えますと、それは野趣にみちた力強い味になるのが不思議です。

私たちは桜が散ると杏の花はどうかなと気にします。濃いピンクの花は私たちは見せるために咲いてるんじゃないわよという風情、桜とは違う自己主張ができます。虫たちにはたいへんなアピールでしょう。それから春の花が次々と咲き、緑濃く、熊野森が一番生命力にあふれ、動き出す感じの頃、ウメの種くらの実はどんどん大きくなり、私たちは今年の収量はどうかと見に行きます。

6月に入ると摘み取りのタイミングを計りに行きます。充分熟して、落ちる前にと。こんな風に、杏の木を気にすることで、熊野森の自然を感じる事が一番大きなめぐみだと思うのです。(くすかおる)



ちょっとおしゃべり・ターザンの木に想うこと
すみれ&もも

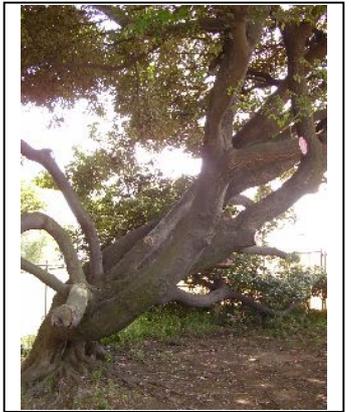
ターザンの木 アルバム
2001年



2003年



2005年



2005年から2009年
マンション建設工事のために立ち入り
禁止となっていた。



もも 「ターザンの木は、川崎市の公園として、残せることになったわね。」
すみれ 「2003年6月に保全の署名を始めて、11月にはターザンの木を守るために、コカリナ演奏会も開催したわね。」
もも 「覚えている？最初にターザンの木の、子供が一番遊び易かった地面に這うように伸びている枝が切られると聞いて、とんで行ったときのこと。」
すみれ 「建設計画の変更で、2007年に2度目の請願をして、翌年川崎市議会環境委員会で趣旨採択され、ターザンの木は提供公園の中で残る事にはなったけれど、斜面緑地と一体での保全は叶わなかったよね。」
もも 「提供公園となり、久本山ターザンの木緑地と名前が決まった後の最後の枝おろしも、目に焼き付いているわね。ターザンの木は痛いけど、幹だけ救ってくれてありがとうと言っていた気がする。」
すみれ 「枝が切り落とされる毎に、ターザンの木と言える形状が失われて、身が切られる様な気分だったわ。ターザンの木の傍に佇むと、いつも何かホット安らぎ、それでいてパワーをもらえる気がするの。これからも風雨に立ち向かい、ターザンの木として雄雄しく生き続けて欲しいわ。」
もも 「生き残ったターザンの木を縁として、この地の人たちの気持ちが結ばれると良いわね。」
すみれ 「久本山ターザンの木緑地愛護会ができて、私たちの月に一度の里山活動の場にここの草刈りなどが加わったけど、是非とも、近隣にお住まいの方々にも参加してもらって一緒にターザンの木を見守りたいわね。」



2003年 多摩丘陵を歩く会



2010年「久本山ターザンの木緑地」
となり、里山の会が愛護会として
草刈り、清掃をしている。

川崎・多摩丘陵の里山を守る会

事務局

044-866-7005

高津区下作延 2-22-15

Web サイトのアドレス:

<http://satoyamanokai.org/>



野菜づくりの体験学習が始まります！



2010年11月から、里山を守る会の活動メニューに新しい試みが加わります。

近所にあります生産緑地オーナーのご指導のもと、生産緑地の一角で「野菜づくり体験学習」を行うものです。実際に土にふれ農作物を育てて収穫する喜びを皆で分かち合うのが目的です。

この学習は基本的に週末に行うもので、初回の11月は、第一工程としての草取り・土造りから開始いたします。

季節柄、お鍋料理に欠かせない野菜づくりが体験学習の教材になるかと思いますが、会員たちは今からワクワク気分でおります。自然の大切さと作物を思いやる気持ちで学習をして参りたいと思います。

今後、この体験学習の状況は、里山を守るの会のホームページに時々掲載していく予定です。乞うご期待！（マサトシ）

菜の花を咲かせましょう

☆菜種を植えて5日、「熊野森緑地」で発芽です。(10/22)



☆かえるプロジェクト「使用済みてんぷら油の回収」

日時;毎月第4水曜日 9時から14時まで

場所;区役所など(近くは 久本薬医門公園、末長 335 番

久保田宅前にて)問合せ;区役所 861-3133

詳細;ホームページ <http://kaeru.kazekusa.jp>

編集後記

この大きな樹もマンション用地？久本山の斜面は、マンション建設でどんどん消えていきます。わずかに残った生産緑地の緑が貴重です。10月22日川崎市議会まちづくり委員会の議員の方々が、視察にきました。周辺住民として、斜面地での建設には十分な配慮がほしいと訴えました。

